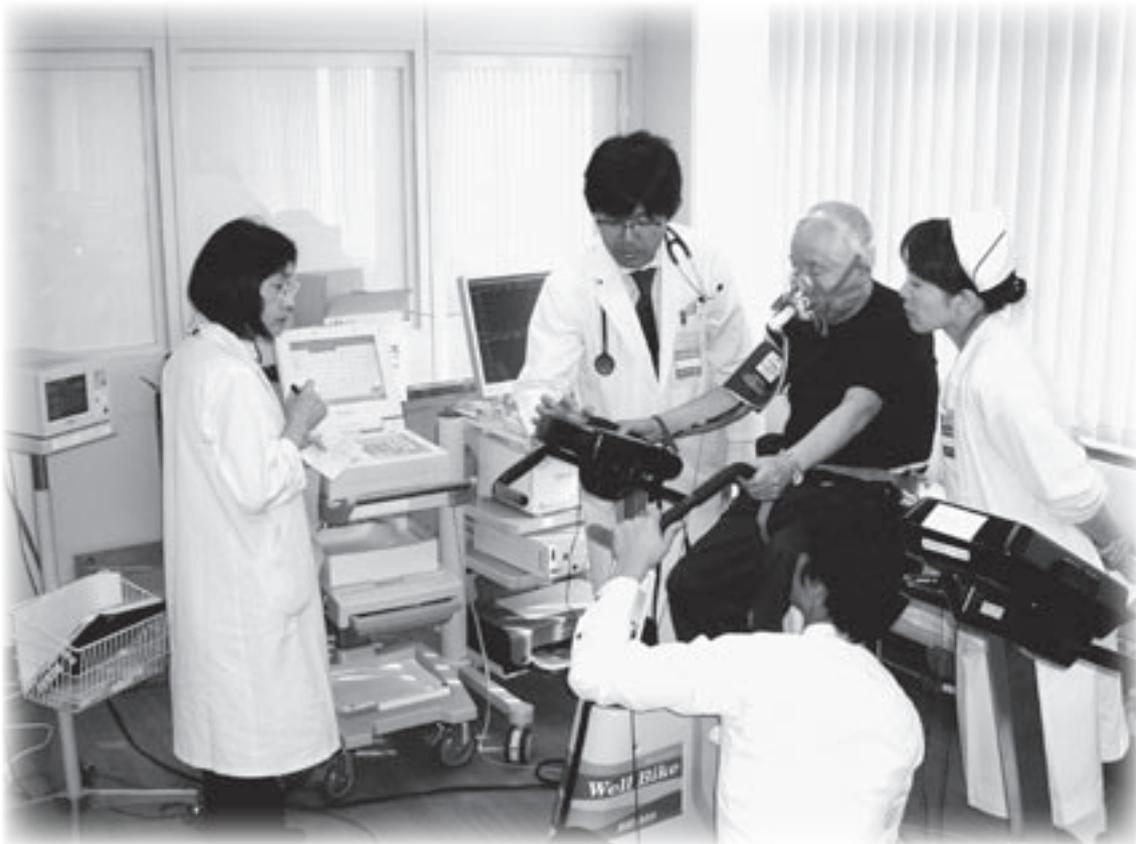


患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし



心臓リハビリ



服薬指導



リハビリ



検診



療養病棟

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



泌尿器科外来 ～受診のすすめ～

泌尿器科 医師 井上 幸広



「おしっこがよく出る」ということは・・・

おしっこが出過ぎて困る、という悩みを泌尿器科の外来ではいつも聞きます。でも私の頭の中では、「この人は実はおしっこの出が悪いな」と思っているのです。どういうことなのでしょう。

尿を出す器官は膀胱です。この膀胱に何かの障害が起こるとおしっこが近くなる(頻尿)という症状が出ます。この頻尿を「おしっこがよく出る」と勘違いしてしまうのです。

大きく分けて障害には、膀胱の出口の障害と、膀胱に指令を出す神経の障害があります。

出口の障害は、男性の前立腺肥大症や前立腺癌があります。膀胱の出口の部分にある前立腺が大きくなって尿道をつぶしてしまうため(道路が急に狭くなって渋滞がおこるようなものです)、一回に出る尿の量が減り、残尿が出てくるために回数が増える。これが実態なのです。

前立腺肥大症は前立腺癌を合併することもあるため、必ず^{※注1}PSA検査も行いますが、前立腺肥大症が前立腺癌になることはありません。きちんと検査を受ければ怖がることはありません。

神経の障害は、脳出血や脳梗塞が代表的なものです。いずれも脳が「おしっこを我慢なさい!」という指令をうまく出せなくなっているのが原因です。過活動膀胱と最近は言われていますが、本当は悪いのは膀胱ではないのです。近頃は膀胱をうまくコン

トロールするような薬が次々と開発されてきて、かなり苦痛を取り除くことができるようになってきました。

脳の障害ではない女性の閉経後の頻尿に関しては、外来の投薬だけでほとんどの人が満足できる日常を取り戻しています。手術をするようなことは無い病気ですから、悩まずに早めの受診をお勧めします。

女性に、泌尿器科で「手術をしましょう」ということは滅多にありません。でも男性では薬の効果がどうしても不十分なときや、癌であったときに手術が必要となる場合があります。前立腺の手術や膀胱癌の手術の多くは内視鏡を使って行うことができます。また最近では放射線治療の進歩によって、「切らずに治す」ことも出来るようになってきています。

悩みは我慢せずに早めに泌尿器科を受診しましょう。これが手術を受けずに済む一番の方法なのかもしれないよ。

※注1

血液中のPSAの量を測定し、前立腺に異常がないかどうかを調べる検査です。普通に採血するだけで前立腺がんのおおよその見当がつきます。

PSAとは健常男性の前立腺から分泌される物質で、PSA値が高ければ高いほど前立腺がんの確率も高くなっていきます。



泌尿器科外来では、月曜日の午後は女性専用となっています。
気になる症状がある方は、一度受診してみませんか？

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

当院では職員に募金を呼びかけ、病院で働く者として、少しでも医療現場で役立ててほしいと思い、全国自治体病院協議会を通じて被災地へ義援金を送りました。

なお、皆様からの募金箱への義援金は芦屋町を通じて日本赤十字社に送らせていただきました。

新任医師の紹介



消化器科医師
槇 信一郎

所属学会：日本内科学会
日本消化器病学会
日本内視鏡学会
日本消化器学会
日本胃癌学会

この度、4月1日付けで赴任いたしました。

主に消化管を中心に診察しています。近年は内視鏡機器の進歩により通常検査に加え、拡大検査が可能となりました。拡大検査を併用することで、癌及び非癌の診断がより明確になります。また、心疾患・脳疾患の増加により、抗凝固剤を内服されている患者さんが増えてきました。従来であれば、これらの内服薬を服用されている患者さんは、一旦内服薬を中止して検査を受ける必要がありました。内視鏡検査のために内服を中止することで原疾患（心疾患、脳疾患）の再発リスクがあります。しかし拡大検査を行えば、すべての患者さんで内服を中止する必要はありません。

このように心疾患、脳疾患で抗凝固剤を内服されている、検査を躊躇されている患者さんも、ぜひ一度相談してください。

今後、地域医療に貢献できるよう頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



消化器科医師
村上和歌子

所属学会：日本内科学会
日本消化器病学会
日本内視鏡学会

4月より町立芦屋中央病院消化器科に赴任いたしました村上和歌子です。

皆さんが温かく迎えてくださり、芦屋町での生活にも慣れてきました。

地域の方々に信頼される医療を心掛けていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

病院で見かけましたら気軽に声をかけてください。



糖尿病教室でお待ちしています

3病棟 赤木 直子



皆さんこんにちは、以前「糖尿病教室のご案内」が掲載されていたのを覚えておいででしょうか？その糖尿病教室担当看護師の赤木です。よろしくお願いいたします。

糖尿病には「生活習慣病」や初期には症状が出ない「沈黙の病気」という嫌なイメージの通り名があります。最近では、食後の血糖値が高い「かくれ糖尿病（食後高血糖）」という言葉をよく聞きます。健診などの血液検査の血糖値の結果は正常なのに、実は食後の血糖値が高い人のことを言います。（健診は空腹時に受けるため）

「糖尿病治療」の2本柱は「(バランスのとれた)食事」と「(適度な)運動」です。それでも改善が見られない場合に「薬」が登場します。

糖尿病教室で看護師が担当するのは、主に「日常生活について」ですが、そこでは血压や体重の話、低血糖や足の手入れ、先生に聞きにくい素朴な疑問、必要に応じてインスリン注射や血糖測定の仕方

など、皆さんが生活を送るのに必要な様々なことについて一緒に勉強していきます。

糖尿病は風邪とは違い治る病気ではありませんが、コントロールできる病気です。そして、上手にコントロールするのに大切なのは「自己管理」です。いくら私たちが頑張っても、皆さんと一緒に頑張る気持ちになってくれないと、糖尿病はコントロールできません。

私からのひとは
「糖尿病 あなた自身が主治医です。」

私がいつも患者さんにお伝えする言葉です。医師や看護師ではなく、糖尿病のコントロールはあなた次第なのです。私たちはいつでも喜んでお手伝いします。そのことを忘れないでください。

では、町立芦屋中央病院3病棟の「糖尿病教室」でお会いしましょう。

※糖尿病教室に興味がある方は「内科外来」でお問い合わせください。

町立芦屋中央病院外来診療担当表

平成23年6月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土	
消化器科	午前	櫻井	青見	槇	青山	櫻井	消化器科、内科医師で交替 (午前のみ)	
	午後		青山		青見			
内科	午前	呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾		呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾		
		加来	加来	加来	村上	加来		
		循環器科 田中		循環器科 田中		循環器科 田中		
	糖尿病 田中(健)	肝臓病 日浦	糖尿病 森田		膠原病 水野	糖尿病 岡田		
午後	青山	櫻井	青見	加来	神経内科 松尾 村上			
小児科	午前	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師		
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上		井上 第2・4は休診
	午後	井上 女性専用	井上					
整形外科	9:00~	野々村	内藤	内藤 野々村	野々村	内藤	2人で交替	
	10:30~	内藤				野々村		
	午後		内藤		野々村			
外科	午前	井下	永渕	2人で交替	井下	永渕	2人で交替	
	午後	永渕	2人で交替		井下			
眼科	午前			産医大派遣医師		産医大派遣医師	産医大派遣医師	
	午後							
耳鼻咽喉科	午前	工藤	工藤		工藤	工藤		
午後								
腎外来	10:30~	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎		
CT・超音波		小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	
心臓リハビリ		14:00から	14:00から	14:00から	14:00から	14:00から		

受付時間 **午前** [月曜日～金曜日] 11:00まで [土曜日] 10:00まで **午後** 13:00～16:00

お知らせ

35周年記念講演会を行います。
 日にち:平成23年9月10日(土)
 場所:町民会館大ホール
 ※詳細は次号にてお伝えいたします。



町立芦屋中央病院
 〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号
 TEL 093-222-2931(代)
 FAX 093-222-2176
 FAX 093-223-0301(連携室)
 e-mail hospi@hospi-ashiya-fukuoka.jp
 URL: http://www.ashiya-central-hospital.jp



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
 ・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分